

あい、ふれあい、きずきあい。

第110期

営業のご報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで

2019.3 あいぎん ミニディスクロージャー



あい、ふれあい、きずきあい
愛知銀行

ごあいさつ



取締役会長
小出 真市

取締役頭取
伊藤 行記

みなさまには、日頃から愛知銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、新しく頭取に伊藤行記が就任いたしました。

当行は、創業以来今日まで、地域のみなさまとともに歩んでまいりました。

これからも、役職員一同新たな気持ちで、地域のみなさまから選ばれ続ける銀行となるよう努めてまいります。

何卒、一層のご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

2019年6月

経営理念



contents

ごあいさつ	1	地域とともに	11
新頭取メッセージ	2	愛知銀行のライフサポート	13
経営計画 地域、個人・中小企業のお客さまへの貸出	3	お客さま満足度向上に向けた取組	15
業績ハイライト	5	店舗網、ATMネットワーク	16
財務諸表	7	株主優待制度	17
愛知銀行のビジネスサポート	9	株式の状況・ご案内	18

地域のお客さまを全力で応援します

新頭取としての抱負

みなさまには、平素より温かいご支援をたまわり、誠にありがとうございます。

当行は、地域中心のリーテイル営業に徹することを創業以来の一貫した方針としております。経営理念として掲げる堅実経営を踏襲してお客さま本位の良質な金融サービスの提供により、お客さまのニーズや課題解決にお応えしてまいります。

具体的には、地元企業の成長への支援、個人のお客さまの資産形成への支援、地域社会への貢献活動が当行の役割であり、これを引き続き堅持していきたいと考えております。

厳しい環境下における地域金融機関の対応

経常利益、当期純利益は、ともに4期振りの増益、本業での収益を表す「コア業務純益」は3期振りに増益となりました。

しかしながら、今後も低金利の長期化、人口減少、高齢化など厳しい外部環境が続くことが想定されますので、ソリューション営業を強化することにより金融仲介機能を発揮し、地域経済の活性化、収益力の強化を同時に実現してまいります。

今年度より、第11次中期経営計画をスタートし、「お客さまのパートナーとして地域社会に貢献する銀行」としていきたいと考えております。



持続可能なビジネスモデルの実現

収益構造の改革として、有価証券運用への依存を抑制し、貸出金利息・役務利益増強により本業利益の安定的確保を目指します。

当行は、今中計期間中の来年度には創業110周年を迎えます。強固な財務基盤と地元のネットワークを通して、長年培ったお客さまとのリレーションシップを基に第11次中期経営計画の基本方針「営業力・収益力強化」、「生産性向上」、「人財強化」、「ガバナンス強化」の各施策を展開してまいります。

この施策を着実に実現させるために、抜本的な業務改革に取組み、行員一丸となって地域のみなさまを応援していく経営体制を構築し、お客さまのニーズに的確にお応えできる人財を育成してまいります。

取締役頭取 伊藤 行記

経営計画

■第11次中期経営計画 (2019年4月～2022年3月)

地域のお客さまを全力で応援します

目指す銀行像

お客さまのパートナーとして
地域社会に貢献する銀行

基本方針1 営業力・収益力強化

- (1) お客さまへの提供価値向上
- (2) リスクとリターンの最適化
- (3) 地域創生への取組み強化
- (4) 市場運用力の高度化

基本方針2 生産性向上

- (1) 店舗・業務改革の推進
- (2) IT戦略・非対面チャネルの強化
- (3) 働き方改革の推進
- (4) 経費の最適化

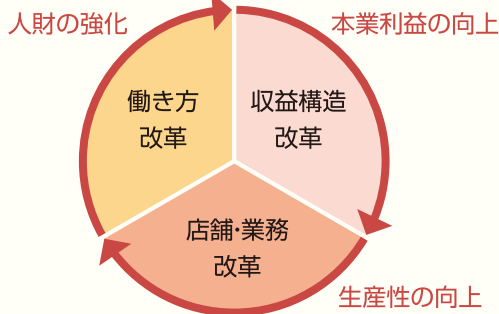
基本方針3 人財強化

- (1) 次世代を担う人財の育成
- (2) ダイバーシティへの取組み強化

基本方針4 ガバナンス強化

- (1) お客さま本位の業務運営方針への取組み
- (2) リスク管理態勢の強化
- (3) ESGへの対応

3つの改革



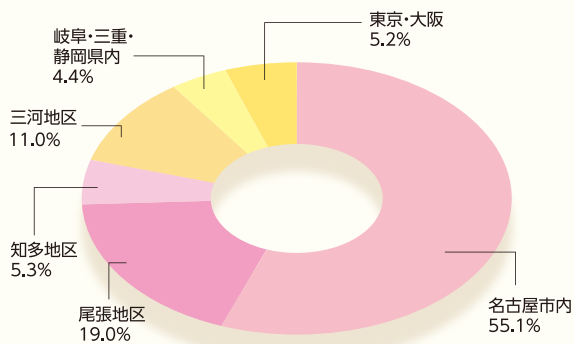
第11次中期経営計画で目指す経営指標 (2021年度目標)

コア業務純益	65.5億円
経常利益	58.5億円
当期純利益	41億円

地域、個人・中小企業のお客さま

■地域別貸出額

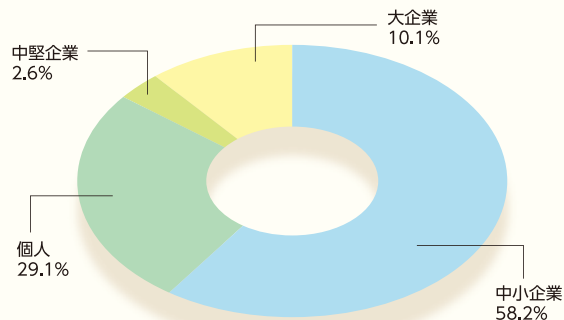
愛知県内への貸出は1兆6,380億円で総貸出額の90.4%となっております。



愛知県内 90.4% 2019年3月31日現在

■個人・中小企業向け貸出額

個人・中小企業向け貸出は1兆5,813億円で総貸出額の87.3%となっております。

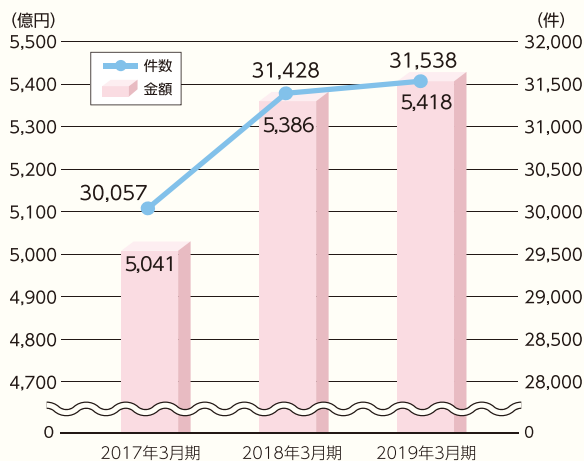


個人・中小企業 87.3% 2019年3月31日現在



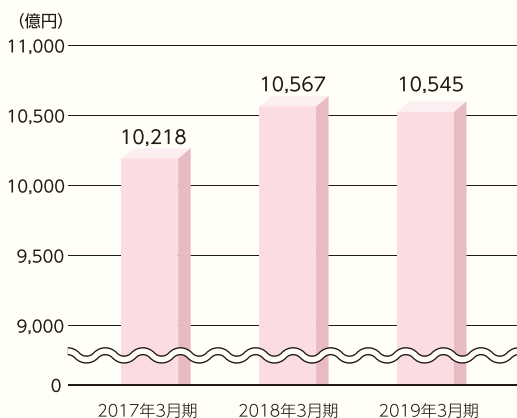
■住宅ローン件数・残高

貸出件数は31,538件(前期末比0.4%増加)、貸出残高は5,418億円(前期末比0.6%増加)となっております。



■中小企業向け貸出金残高

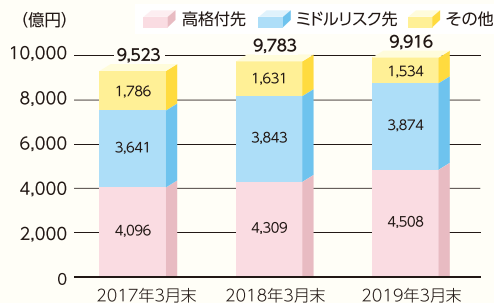
中小企業向け貸出金残高は前期末比21億円減少し1兆545億円(前期末比0.2%減少)となっております。



■第10次中期経営計画の成果

第10次中期経営計画では、中小企業(特にミドルリスク先、年商の少ない零細企業)向け貸出の増強及び、メイン化を中心施策として掲げております。2019年3月期の実績(年間平均残高)は下記のとおりです。

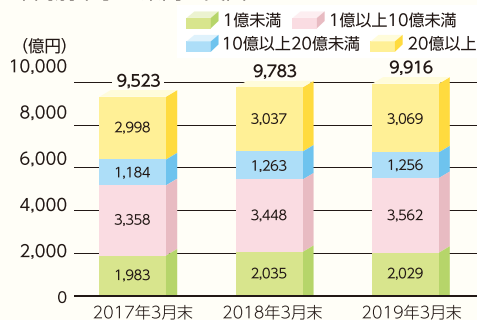
■格付別中小企業向け貸出金



	高格付先	ミドルリスク先	その他	全体
対前年比	199	30	▲96	133

成果 ミドルリスク先で30億円の増加。

■年商別中小企業向け貸出金



	1億未満	1億以上10億未満	10億以上20億未満	20億以上	全体
対前年比	▲6	114	▲7	32	133

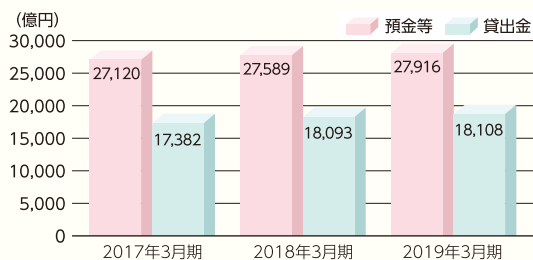
成果 年商20億円未満の先で101億円の増加。

業績ハイライト

■預金等・貸出金

預金等は、法人預金を主体に前期末比327億円増加(前期末比1.19%増加)し、2兆7,916億円となりました。

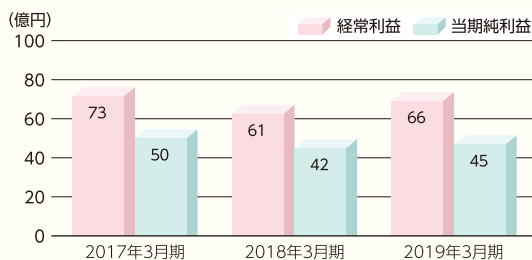
貸出金は住宅ローンなどの個人向け貸出が増加したことから、前期末比15億円増加(前期末比0.08%増加)し、1兆8,108億円となりました。



■経常利益・当期純利益

経常利益は経費の減少および国債等債券損益が増加したことなどから前期末比5億円増加し、66億円となりました。

当期純利益は、前期末比2億円増加し45億円となりました。

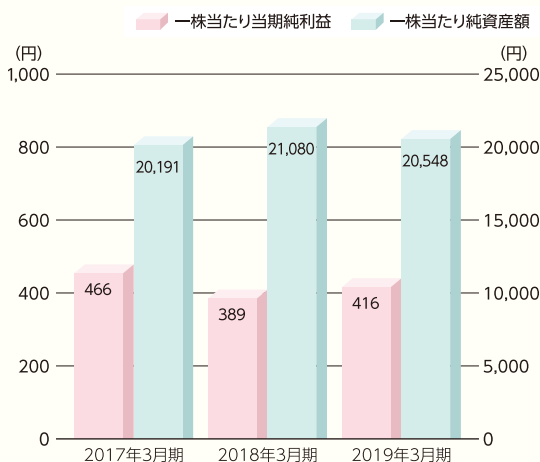


■コア業務純益

経費が減少したことなどから、前期末比7億円増加し、65億円となりました。



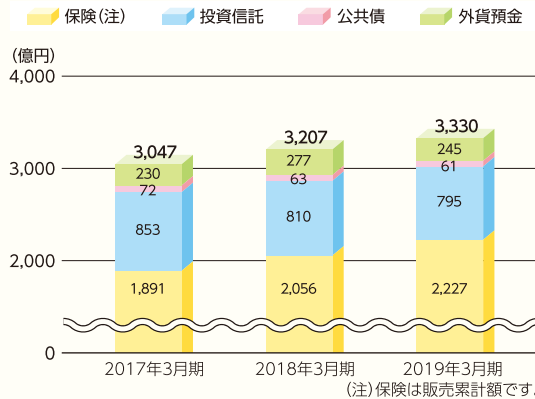
■一株当たり当期純利益・一株当たり純資産額





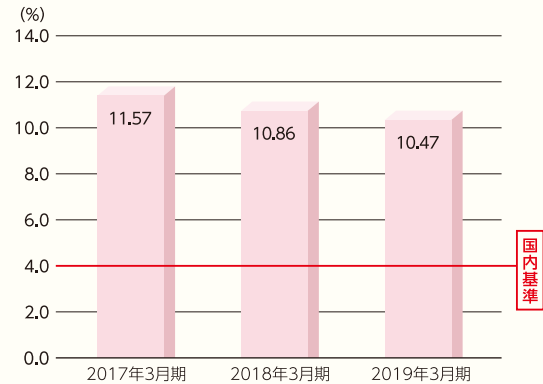
■ 預かり資産

預かり資産残高は前期末比122億円増加(前期末比3.8%増加)し3,330億円となりました。



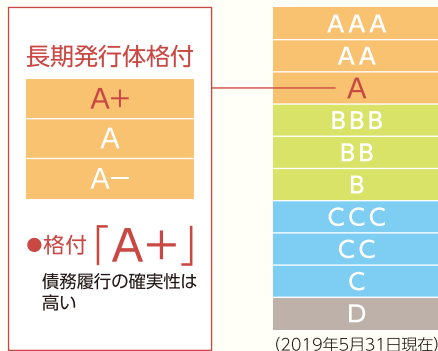
■ 自己資本比率

自己資本比率(単体)は10.47%と自己資本比率規制の国内基準4%を大きく上回っています。



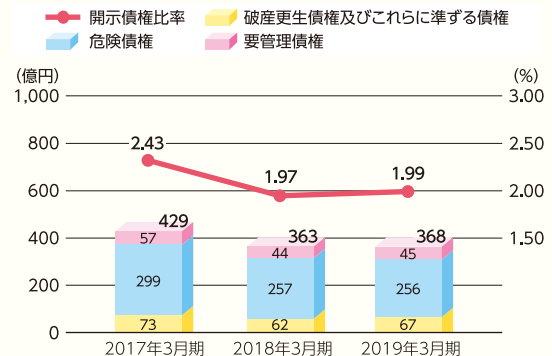
■ 格付

株式会社日本格付研究所(JCR)より、長期発行体格付として「A+(シングルAプラス)」という高いランクの格付を取得しております。



■ 不良債権

金融再生法に基づく不良債権額は前期末比5億円増加し368億円となりました。不良債権比率は前期末比0.02ポイント上昇し1.99%となりました。



単体財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

■第110期末貸借対照表

(2019年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	188,690	預金	2,787,548
コールローン	1,899	譲渡性預金	4,100
有価証券	1,069,430	コールマネー	15,538
投資損失引当金	△7	債券貸借取引受入担保金	25,671
貸出金	1,810,840	借入金	29,191
外国為替	1,924	外国為替	1,297
その他資産	12,154	その他負債	7,575
有形固定資産	34,172	賞与引当金	598
無形固定資産	980	役員賞与引当金	36
前払年金費用	5,744	役員退職慰労引当金	17
支払承諾見返	7,108	睡眠預金払戻損失引当金	339
貸倒引当金	△6,555	偶発損失引当金	1,274
資産の部合計	3,126,383	繰延税金負債	18,185
		再評価に係る繰延税金負債	4,727
		支払承諾	7,108
		負債の部合計	2,903,212
		純資産の部	
		資本金	18,000
		資本剰余金	13,834
		利益剰余金	132,829
		自己株式	△724
		株主資本合計	163,939
		その他有価証券評価差額金	50,653
		土地再評価差額金	8,304
		評価・換算差額等合計	58,957
		新株予約権	274
		純資産の部合計	223,171
		負債及び純資産の部合計	3,126,383

■第110期損益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

科目	金額
経常収益	42,058
資金運用収益	29,064
役務取引等収益	6,818
その他業務収益	2,187
その他経常収益	3,987
経常費用	35,386
資金調達費用	1,170
役務取引等費用	2,893
その他業務費用	2,445
営業経費	25,171
その他経常費用	3,704
経常利益	6,672
特別利益	3
特別損失	263
税引前当期純利益	6,412
法人税、住民税及び事業税	2,032
法人税等調整額	△132
法人税等合計	1,900
当期純利益	4,512

■インターネットホームページ

最新の経営情報や商品内容、キャンペーン情報などを掲載しております。
また、ローンシミュレーションや店舗・ATMの検索などにもご利用いただけます。
(<https://www.aichibank.co.jp/>)



連結財務諸表



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

第110期末連結貸借対照表

(2019年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	188,738	預金	2,783,678
コールローン及び買入手形	1,899	譲渡性預金	4,100
有価証券	1,067,949	コールマネー及び売渡手形	15,538
投資損失引当金	△7	債券貸借取引受入担保金	25,671
貸出金	1,804,367	借入金	40,011
外国為替	1,924	外国為替	1,297
その他資産	38,141	その他負債	9,750
有形固定資産	34,491	賞与引当金	612
無形固定資産	1,004	役員賞与引当金	39
退職給付に係る資産	3,922	退職給付に係る負債	996
繰延税金資産	226	役員退職慰労引当金	25
支払承諾見返	7,108	睡眠預金払戻損失引当金	339
貸倒引当金	△7,479	偶発損失引当金	1,274
資産の部合計	3,142,287	繰延税金負債	17,323
		再評価に係る繰延税金負債	4,727
		支払承諾	7,108
		負債の部合計	2,912,497
		純資産の部	
		資本金	18,000
		資本剰余金	13,883
		利益剰余金	137,146
		自己株式	△724
		株主資本合計	168,305
		その他有価証券評価差額金	50,729
		土地再評価差額金	8,304
		退職給付に係る調整累計額	△1,956
		その他の包括利益累計額合計	57,077
		新株予約権	274
		非支配株主持分	4,132
		純資産の部合計	229,790
		負債及び純資産の部合計	3,142,287

第110期連結損益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

科目	金額
経常収益	49,893
資金運用収益	29,078
役員取引等収益	14,676
その他業務収益	2,196
その他経常収益	3,941
経常費用	42,806
資金調達費用	1,160
役員取引等費用	9,469
その他業務費用	2,445
営業経費	25,829
その他経常費用	3,901
経常利益	7,086
特別利益	3
特別損失	262
税金等調整前当期純利益	6,828
法人税、住民税及び事業税	2,187
法人税等調整額	△155
法人税等合計	2,031
当期純利益	4,796
非支配株主に帰属する当期純利益	113
親会社株主に帰属する当期純利益	4,682

「会社説明会(IR)」の開催

機関投資家向けの会社説明会を定期的に開催しております。
また、愛知銀行をより知っていただくために、個人投資家向けの会社説明会も開催しております。



愛知銀行のビジネスサポート

■企業のライフステージと3つの戦略サポート

■創業・起業支援

日本政策金融公庫および外部専門家との連携による創業・起業支援を行っております。

■「あいざん創業支援パッケージ」

創立5年以内の法人のお客さま、創業5年以内の個人事業主のお客さまを対象とし、事業者向けインターネットバンキングや、法人向けクレジットカードなど、便利なサービスをパッケージにしてご提供しております。

■タイ・バンコクでの「セミナー・交流会・商談会」

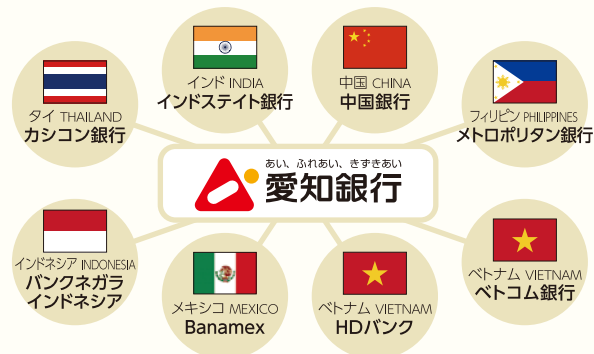
埼玉県タイサポートデスクとともにタイ・バンコクにおいて、当行取引先と埼玉県企業によるビジネスマッチング及び企業交流の活性化を目的として「セミナー・交流会・商談会」を開催しました。



■海外ビジネスサポート

海外銀行との業務提携

アジア地域、メキシコにおけるお取引先の海外ビジネスを支援するために7か国の8銀行と業務提携をしております。



■「愛銀ビジネス商談会」

「幅広い「出会い」をご提供!」

地域経済の活性化と地域企業の本業支援を目的とし、年に一度、「愛銀ビジネス商談会」を開催しております。

2018年10月の「第19回愛銀ビジネス商談会」では、前回に引き続き東北・北陸地方の企業と、今回初めて長野県の企業を誘致しました。



事業戦略サポート

起業 ———— 創業期 ———— 成長期

創業支援

ビジネスマッチング、M&Aサポート

資本戦略サポート

起業 ———— 創業期 ———— 成長期

財務戦略サポート

起業 ———— 創業期 ———— 成長期

でんさい、A

■海外ビジネスセミナー等

「海外知財戦略構築セミナー」(2019年2月8日)

共催:日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター
後援:独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)
主な内容:海外知財の基本・概要、
リスクやその未然防止対策等



「越境ECを活用した海外販路開拓(B to C)セミナー&個別相談会」(2019年5月23日)

共催:独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部
後援:東京海上日動火災保険株式会社
主な内容:越境ECを活用した海外販路開拓等





■「シニア人材交流会」

「シニア人材が解決！」

一般社団法人中部産業連盟とともに経営課題を抱えるものづくり中小企業に対し、専門的な知識・ノウハウを有する「シニア人材」を紹介・マッチングすることを目的として、交流会を開催しました。

期 —— 停滞期 —— 成熟期 —— さらに成長へ ▶

サポート、ビジネスアイ、産学連携、各種セミナー

確定拠出年金、海外ビジネスサポート、現場改善アドバイス

期 —— 停滞期 —— 成熟期 —— さらに成長へ ▶

あいぎん未来創造ファンド

事業承継・家系(計)承継サービス、株式上場支援(市場誘導業務)

期 —— 停滞期 —— 成熟期 —— さらに成長へ ▶

BL、地域企業応援パッケージ

私募債、シンジケートローン

■産学官金連携

お客様の技術開発ニーズを大学、高専などに繋ぎ、実用化に向けた支援を行っております。

連携協定
締結先

- 名古屋大学
- 名古屋工業大学
- 名古屋市立大学
- 豊橋技術科学大学
- 名城大学
- 豊田工業高等専門学校
- 中小企業基盤整備機構中部本部
- 日本福祉大学

■「地域企業応援パッケージ」

日本政策金融公庫との協働により創業・成長・発展・再生等の各分野における支援を展開しております。

■現場改善アドバイス

ものづくり現場の
エキスパートが訪問！

「現場改善アドバイザー」として採用した、製造現場で実際に長く働いた部品メーカーOBが地元のものづくり企業へ営業担当と同行訪問し、工場改革に繋がる提案・アドバイスを行っております。

■経営力向上計画セミナー

採用難・人手不足時代の経営術

2018年12月、2019年1月に中小企業事業者を対象として、人材不足問題、人材育成および確保をテーマに開催しました。

■「事業承継・M&Aセミナー、相談会等」

後継者の不在など、経営課題を抱えているお客さまに対して事業承継やM&Aをテーマとするセミナーを随時開催しております。

■「愛銀ビジネスサクセッション」

お客さまの事業継承に関する課題に対して、愛知銀行は当行が提携するコンサルティング会社・税理士法人、あいぎん未来創造ファンド、及び日本政策金融公庫との連携により、トータルサポートとしてご提供しております。

■地域密着型金融

地域密着型金融を推進していくことで、金融の円滑化を図り、地域のみなさまに信頼され、期待される金融機関を目指してまいります。

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(2018年4月～2019年3月)

指標	数値目標	実績
①成長分野・創業への支援関与先数	250件	264件
②事業承継、M&Aの相談件数	500件	1,139件

地方創生への取組

各自治体との円滑な連携を図り、「地方版総合戦略」の推進に積極的に関与していくために、更に支援体制を充実させてまいります。

■地方創生にかかる 包括連携協定等の締結先(締結順)

犬山市、小牧市、尾張旭市、桑名市、新城市、半田市、清須市、江南市、岩倉市、中津川市、日進市、愛知県、知多市、豊明市、大府市、大口町
その他にも、36の団体等と「連携協定」を締結しております。

あいぎんキッズアカデミー



名古屋市の印刷業株式会社マルワとともに、地元の小学生に「お金の大切さ」や「ものづくりの面白さ」について学んでもらうことを目的として、「あいぎんキッズアカデミー」を開催しました。

団体等との連携事例



■名古屋工業大学での寄附講座「金融学」の開講

国立大学法人名古屋工業大学とともに、同大学の3年生を対象に開講しました。

本講義は全16回で、地方銀行の役割をはじめとする幅広いカリキュラムとなっており、学生の金融リテラシー向上を目的としています。



■人材確保支援セミナー ～人手不足への対応策を考える～

「働き方改革に関する包括連携協定」を締結している愛知労働局とともに、地域の中小企業のみなさまが直面している人手不足の課題解決に向けた情報提供の機会として開催しました。



銀行見学



Q.1億円の重さは?

A.は下記

地元の小・中学生を対象とし、職場体験学習を当行本支店において、随時開催しております。

A.10kg



エコノミクス甲子園



愛知県内の高校生に楽しみながら金融経済を学んでもらうことを目的として毎年開催いたしております。



愛銀文化講演会

各界の著名人を講師に迎え、社会・金融経済問題を中心に講演会を行っております。



■第38回愛銀文化講演会 (2019年5月22日)

テーマ 『激動する世界 ～日本の針路を考える～』

講師 長谷川 幸洋(はせがわ ゆきひろ)氏

愛銀教育文化財団

学術・スポーツを含む教育・文化活動への助成や高校生を対象とした文化・体育活動への援助を行っております。



■助成金累計 (1990年度～2018年度)

先数	699先
累計金額	2億63百万円

愛知銀行のライフサポート

お客さまのニーズやライフプランに応じたサービスをご提供しております。

便利なサービス

■スマートフォンでいつでもどこでも口座開設! 「あいぎん口座開設アプリ」**無料**

ご利用いただけるお客さま(以下の全ての条件を満たす必要があります)

- 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県の4県で当行の営業エリアにお住まいまたはお勤めの個人の方。
- 運転免許証をお持ちの方。
- お申込時の年齢が18歳以上75歳未満の方。
- 愛知銀行で普通預金口座をお持ちではない方。

※法人、屋号のある名義、外国籍の方、氏名にアルファベットのある方、運転免許証記載の住所にお住まいでない方はお申込いただけません。

※詳細は愛知銀行のホームページにてご確認ください。

■パソコンやスマートフォンで投資信託!

個人向けインターネットバンキング「愛銀Aiダイレクト」^{※1}による投資信託の取扱をいたしております。当行の窓口に出向くことなくご自宅や外出先からもインターネットにより投資信託などのお取引がご利用いただけます。

※1「愛銀Aiダイレクト」とは、個人のお客さまがパソコンやスマートフォンにてご利用できるインターネットサービスのことです。



■愛銀Visaデビットカード誕生!!

主な特長

- ①日本を含む全世界200以上の国・地域のVisa加盟店で利用できます。
- ②ご利用代金は、即時口座から引き落としとなり現金感覚で安心してご利用いただけます。
- ③「Visa」「PLUS」マークがある海外のATM等で現地通貨のお引き出しができます。



将来に備えて

■住宅ローン、資産形成、相続は、 「休日なんでも相談会」で土・日相談。

各店舗(一部店舗を除く)にて土曜日または日曜日に年4回開催しております。平日にご相談いただけないお客さまは、「休日なんでも相談会」をご利用ください。住宅ローンをはじめとする各種ローンや資産運用および相続など、ゆっくりとご相談いただけます。



■生活応援ローン

ライフプランに合わせ、各種ローンをご用意しております。

■生命保険 ■個人年金保険 ■教育ローン

■NISAで資産形成をサポート

一般NISA^{※2}、ジュニアNISA^{※2}、つみたてNISA^{※2}を活用することで、教育・進学、ご結婚など、用途を特定せずライフプランに応じた資産形成で、様々な資金を準備することも可能です。

※2NISAとは公募株式投資信託などの分配金や売却益が非課税になる個人投資家向けの制度で、未成年者の方が利用できる制度をジュニアNISAといいます。また、つみたてNISAとは、将来に向けて長期間にわたり継続的に積立投資を行うことで、非課税で資金を殖やすことができる制度のことです。



相談したい…

■資産運用

著名人をお招きし、経済・景気動向など資産運用に関するセミナーを毎年開催しております。



資産運用セミナー

■年金相談

各店舗にて年金相談会を定期的に開催しております。

年金相談会では、年金に関するさまざまなご相談を社会保険労務士が個別に無料で承ります。年金相談会の日程は当行ホームページにてご確認ください。

サークルゆうゆう特典ご優待サービスのご案内

貴店様にてお申し込みいただいたこと、自動的にサークルゆうゆう特典が適用されます。

<p>提携会社の安心サービス</p> <p>「セコム・マイドクタープラス」の加入料金 15,000円/年が無料となります。</p> <p>※セコム・マイドクタープラスはセコム株式会社と提携する株式会社セコム・ドクタープラスが提供するサービスです。 ※セコム・マイドクタープラスはセコム株式会社と提携する株式会社セコム・ドクタープラスが提供するサービスです。 ※セコム・マイドクタープラスはセコム株式会社と提携する株式会社セコム・ドクタープラスが提供するサービスです。</p>	<p>銀行</p> <p>名額特約サービスの 銀行代金が大幅に割引となります。</p> <p>※本行と提携する銀行のサービスです。 ※提携する銀行のサービスは提携する銀行のサービスです。 ※提携する銀行のサービスは提携する銀行のサービスです。</p>	<p>フィットネスクラブ</p> <p>フィットネスクラブ アクロスで 1日体験入会金が 割引料金でご利用いただけます。</p> <p>※本行と提携するフィットネスクラブのサービスです。 ※提携するフィットネスクラブのサービスは提携するフィットネスクラブのサービスです。</p>
---	--	--

※提携先は本行のウェブサイトにてご確認ください。

■お客さまセミナー

各店舗にて投資環境・資産運用などをテーマとしたセミナーを年2回開催しております。また、相談会等を随時開催しております。安心してお気軽にご相談ください。

お客さま本位の業務運営方針

2017年6月に公表した「お客さま本位の業務運営方針」の下記項目に基づき、全行員が創意工夫を心がけ、お客さまの立場に立ったご提案や情報提供等を行うとともに取扱商品の拡充、サービスの更なる向上を目指してまいります。

- お客さまにふさわしい金融商品・サービスのご提供
- お客さまへの分かりやすい説明、情報提供の充実
- お客さまの最善の利益を図るための体制整備



お客さま満足度向上に向けた取組



当行は地域のお客さまから信頼され、業績の発展とともに、地域社会の繁栄に貢献する金融機関を目指すため、「お客さまの声」を大切にされた経営体制の確立に積極的に取り組んでおります。

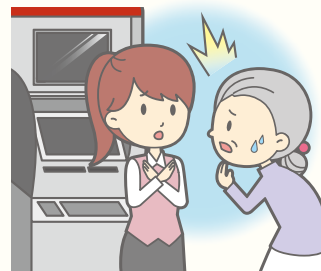
■障害者差別解消法への取組

当行の行員を対象として研修を開催し、行員の障害者差別解消法への理解・知識の向上と店頭対応力の向上に努めております。全てのお客さまに配慮した優しい店舗づくりに取り組んでおります。



■特殊詐欺被害の未然防止への取組

窓口、ATMコーナーでのお声かけやポスター、ATM画面等での注意喚起の表示およびキャッシュカードでの振込の一部利用制限実施など、特殊詐欺被害の未然防止に積極的に取り組んでおります。



健康経営の取組

愛知銀行では、従業員とその家族の心身の健康を重要な財産と位置づけ、組織的かつ戦略的に健康管理・健康づくりに取り組むことで、生産性の向上と組織活性化を図り、経営理念である「堅実経営に徹し、業績の発展をととして地域社会の繁栄に寄与します」の実現を目指しています。

あいざん健康宣言の制定

愛知銀行は、経営理念である「堅実経営に徹し、業績の発展をととして地域社会の繁栄に寄与します」を永続的に行っていくため、従業員とその家族の心身の健康こそが重要であると考え、従業員一人ひとりの健康意識の向上、心身の健康増進、働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。

また、金融サービスの提供や地域活動を通じて、健康で活力ある地域づくりに貢献していきます。

2018年10月1日

健康経営優良法人～ホワイト500～の認定

当行の健康経営の取り組みが、経済産業省および日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度で評価され、愛知県に本店を置く地域金融機関として初めて「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)～ホワイト500～」に認定されました。



ダイバーシティ推進

愛知銀行では、女性の活躍推進のほか、シニア人材の活躍支援とともにワークライフバランスの充実にむけた取り組みを行っております。

女性の活躍推進

- ・職域拡大
- ・継続就業支援
(仕事と家庭の両立支援)
- ・管理職への積極登用

シニア人材の活躍推進

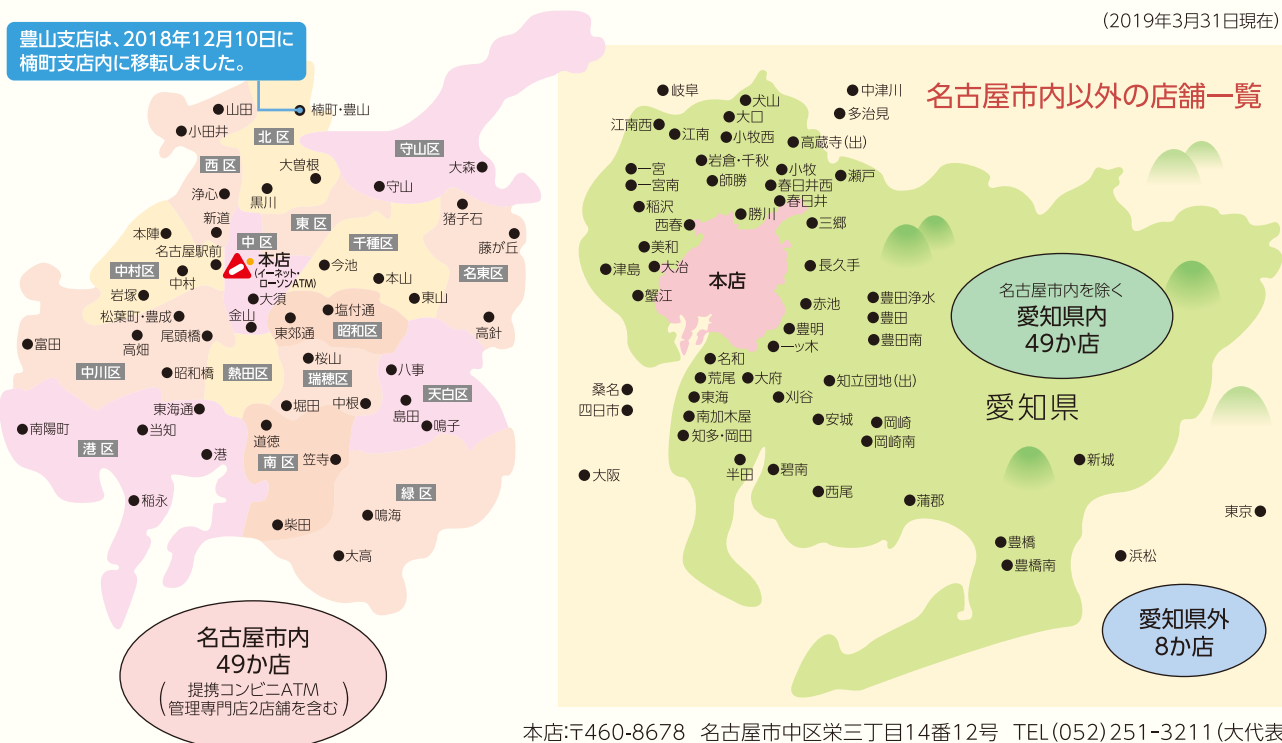
- ・シニア人材のキャリア活用
- ・積極的な管理職層への登用

店舗網、ATMネットワーク



■名古屋市内店舗一覧

(2019年3月31日現在)



■ATMネットワーク

愛知銀行ATMで当行キャッシュカードをご利用の場合、**全日・全時間帯**において現金のお引き出しが手数料無料でご利用いただけます。



※ATM設置台数は2019年3月末現在です。



当行キャッシュカードをご利用の場合、平日日中は現金のお引き出しが手数料無料でご利用いただけます。

提携有料ATM

 ローソン銀行 LAWSON BANK 設置台数25,152台 (うち愛知県内1,228台)	 コネニATM E-net 設置台数13,476台 (うち愛知県内615台)
---	---

 セブン銀行 SEVEN BANK 設置台数12,750台 (うち愛知県内672台)	 アイオン銀行 AEON BANK 設置台数6,193台 (うち愛知県内446台)
---	---

提携ATMで、現金のお引き出しがご利用いただけます。
※ATM設置台数は2019年3月末現在です。

株主優待制度

■株主優待制度の概要

対象となる株主さま	保有期間	優待内容
毎年3月31日現在で100株以上保有の株主さま	1年未満	株主優遇定期
	継続して1年以上(注)	株主優遇定期に加えて、3,000円相当の優待品を贈呈

(注)「継続して1年以上保有されている株主さま」とは、毎年3月31日現在で、当行株式100株以上を1年以上継続保有されている株主さまで、過去1年間(前年の3月31日および9月30日)の株主名簿に同一株主番号で連続して記録された株主さまといたします。なお、同一株主さまで株主番号が複数ある場合は、株主番号ごとに対象となる株主さまを判別し、株数の合算はいたしません。

■2019年株主優待品

お申込期限
2019年12月31日(火)(当日消印有効)

<p>1 横浜本牧亭 ビーフカレー</p> 	<p>2 南魚沼産 こしひかり</p> 	<p>3 やまや 辛子明太子 (無着色)</p> 	<p>4 キッチン飛騨 国産牛と国産豚の ハンバーグ</p> 
<p>5 セレブコレクション カラフル2層 バームクーヘン</p> 	<p>6 京都北川半兵衛 お抹茶アイスセット</p> 	<p>7 漬け魚切身 詰合せ</p> 	<p>8 亀田製菓 おもちゃだまG</p> 
<p>9 鶏三和名古屋コーチン 燻しどりセット</p> 	<p>10 みかわ豚ハム詰め合わせ</p> 		

■株主優遇定期の概要

1. 取扱期間／2019年6月24日(月)～2020年6月30日(火)
2. 優遇対象者／2019年3月31日現在で、当行株式を100株(1単元)以上保有されている株主ご本人さま(法人・個人とも)
3. 取扱窓口／全店
(窓口のみ・外貨定期預金は口座開設店の窓口のみ)
※1株主さま1店舗に限ります。
4. 優遇定期の選択
①②のいずれか1つ、1株主さま1回限りご利用いただけます。

取扱預金	①株主優遇定期預金	②株主優遇外貨定期預金 (オープン型)
優遇内容	金利上乘せ 店頭表示金利+年0.15%	金利上乘せ 店頭表示金利+年0.8%
金利上乘せは初回満期日までとなります。		
取扱通貨	円	米ドルまたはオーストラリアドル(以下、豪ドル)
預金種類	新たにお預け入れいただく 期間1年の自動継続 スーパー定期 [元金継続または元利金継続]	新たにお預け入れいただく 期間1・3・6か月・1年の自動継続 外貨定期預金 [元利継続または元金継続 (利息円貨受取型)]
預入金額	10万円以上200万円以内	1,000米ドル(または豪ドル)以上 20,000米ドル(または豪ドル)以内
発行形態	通帳式、証書式	通帳式のみ

株主優待制度のお問い合わせ先 経営管理部 TEL052(262)9520 平日9:00～17:00

株式の状況・ご案内



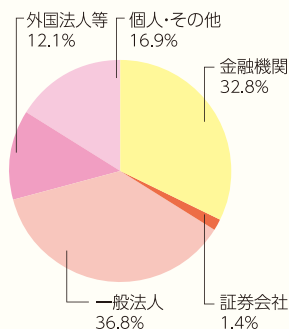
■株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 普通株式 30,000千株
発行済株式の総数 普通株式 10,943千株
(自己株式 95千株含む)

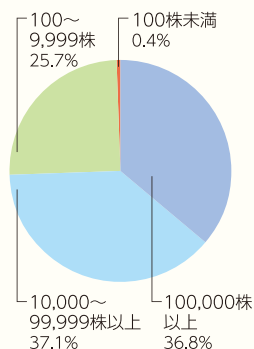
(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

当期末株主数 6,746名

■所有者別分布状況



■所有株数別分布状況



■大株主 (2019年3月31日現在)

株主の氏名または名称	当行への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,418	13.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	405	3.73
愛知銀行従業員持株会	320	2.95
日本生命保険相互会社	261	2.40
日本碍子株式会社	242	2.23
東邦瓦斯株式会社	237	2.18
明治安田生命保険相互会社	205	1.89
住友生命保険相互会社	170	1.56
住友不動産株式会社	156	1.44
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	140	1.29

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数95,870株を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

■株式のご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (https://www.aichibank.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞および中日新聞に掲載します。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

- 上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
個人の株主さまが支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されています。
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。なお、株主さまによっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税制度(ISA)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された弊行株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了していただく必要がありますのでお気を付けください。また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



プロフィール (2019年3月31日現在)

名 称	株式会社 愛知銀行
本店所在地	名古屋市中区栄3-14-12
創 業	明治43年9月17日
資 本 金	180億円
総 資 産	3兆1,263億円
店 舗 数	106か店舗 (100か所)
従 業 員 数	1,601名

■連結子会社(4社)

名 称	主要な事業の内容
愛銀ビジネスサービス株式会社	銀行事務サービス業
株式会社愛銀ディーシーカード	クレジットカード業
愛銀リース株式会社	リース業
愛銀コンピュータサービス株式会社	電算機による業務処理等



愛知銀行本店

愛知銀行のマスコットキャラクター

「リトルラヴィン」

♥でみんなを幸せにするよ!

よろしくね♥



Littlelovin

©2016, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G600805

 **The Aichi Bank, Ltd.**

ホームページアドレス <https://www.aichibank.co.jp/>

